

第7回 近鉄小倉駅周辺周辺地区まちづくり検討会 議事録

<開催概要>

日時:令和4年 1 月28日(金) 午前 10 時から 11 時 40 分まで

場所:宇治市役所 8 階大会議室

<出席者(敬称略)>

委員長 青山 公三

副委員長 岡井 有佳

委 員 居原田 晃司・山本 明子・野川 正克・山口 陽二

村上 慶晃・足立 高広・平岡 克博・上林 幸一【代理】

事務局 小野 孝司(技監)・久下 伸(都市整備部長)・五十嵐 司(建設部長)

荻野 浩造(産業地域振興部副部長)

米田 晃之(都市整備部副部長 兼 都市計画課長)

丸岡 陽一(道路建設課長)・井上 宜久(交通政策課長)

中本 洋(都市計画課副課長)・内藤 良(都市計画課主任)

三田村 翔太(都市計画課技師)

<欠席委員(敬称略)>

6名(大庭 哲治・槻木 章・小山 茂樹・長谷川 理生也・村田 正明・松田 克也)

<傍聴者>

12名(報道関係者含む)

<会議次第>

1. 前回委員会での検討内容等の確認について
2. まちづくり基本構想(素案)にかかる市民意見および修正箇所について

(会議資料)

資料 1 : 前回委員会での検討内容等の確認について

資料 2 : まちづくり基本構想(素案)にかかる市民意見および修正箇所について

参考資料1 : 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想(素案)に関するパブリックコメントの概要
及び市の考え方について

参考資料2 : 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想(素案)

<会議概要>

《開会あいさつ(事務局)》

《前回委員会での検討内容等の確認について》

青山委員長	● 次第1「前回委員会での検討内容等の確認について」事務局より説明を。
事務局	● <資料説明>
青山委員長	● 前回委員会の検討内容なので委員の皆様にとってはおさらいとなるが、具体的な基本構想の修正案の内容などは事務局の説明のとおり、この後の議事で行う。今の説明に対して、意見・質問等あれば。
委員	<検討内容に係る意見特になし>

《まちづくり基本構想(素案)にかかる市民意見および修正箇所について》

青山委員長	● 次第2「まちづくり基本構想(素案)にかかる市民意見および修正箇所について」、事務局より説明を。
事務局	<資料説明>
青山委員長	● ただ今の説明に関して、ご意見・ご質問等あれば。
山口委員	● この前、地元説明会があって、西小倉は会場があふれるぐらいの参加者がいて、関心の強さと要求の大きさが感じられた。その中で、特に障害者に対する宇治市の配慮が足らなかったのではないかと意見があった。「●二つの駅舎形式について、どちらが良いかという意見は特になし」と書かれていますが、私がメモをしているところでは、2件意見があった。それは、改札を上にあげてほしいと、その方が便利であると。そういう内容であったと思っている。思いの内容としては「弱者に優しい駅」にすると、そういう思いを大事にしてほしいということであったと。この資料1の7ページの小学生の意見の中にも「すべての人に優しいまち」ということが言われているので、そういった観点で考慮をお願いしたい。 ● 資料1の8ページに近鉄の考え方が示されているが、これを見とま

	ださらに時間がかかるというような印象を受ける。これまでも相当時間をかけて、駅の東西通路をどうするかということ話し合ってきたが、高架については当面は厳しいということは早々決まったが、この 2 案について近鉄の提案も含めて結局一体いつ決めるのか。この委員会の構想の中でも、そういったものが結果的には出せないということになってしまうのではないかと。
青山委員長	● 障害者の方への配慮の問題。これは駅舎の形状についての配慮と、計画を周知していくという時の配慮という話が 1 点。 ● 2 点目は駅舎の形状の③④の 2 案についての方向性で、基本構想で今日ぐらいに決めてしまうべきだと、そういうご意見。この 2 つについて、事務局のお考えをご説明いただければ。
事務局	● まず 1 点目、障害者の方に優しい駅舎ということで、地域の説明会でそのような意見を障害者の方からいただいた。そこでお話をしたのは、まずは今回作成している基本構想というのは駅舎の方向性を示していくもの。当然弱者に対する配慮は、具体的に検討する中では必要になることであると考えている。 ● 周知の方法については配慮が足らなかったもので、説明会の後、障害者団体の代表の方とご相談をし、今後、基本構想の内容について、説明をする場を設けるよう調整中である。 ● 駅舎の形式については、我々も整備を早期着手項目に位置付けているということもあって、結論に至るところまでという考えで本検討委員会を進めてきたが、やはりコロナの状況や地域意見をうかがう中で検討する視点によっては長所と短所が混在しているという状況を、皆さんの意見でも確認できた。 ● 引き続き、資料にも記載しているが任天堂資料館(仮称)との連携やアフターコロナの情勢、加えて現場状況と照らし合わせた手法の技術的検討を進めてからの判断になるのかなと考えている。しかし本内容については、資料に記載の通り早期・短期に検討をして結果を出すべき課題だと考えており、近鉄と協力しながら協議を進めていきたい。
山口委員	● 障害者の方への配慮は、説明会を改めて実施するとのことで、そこは丁寧な対応をお願いしたいと思う。 ● 駅舎の形式についてどちらにするかというのは、どの案を選んでもメリット・デメリットはついて回ると思う。これを解消してメリットに集約して案を選択するというのは不可能だと思う。いずれにしてもいろんな意見があるが、方向性を決めてほしい。ずっと委員会で論議をしてきたがやっぱり決まらなかったのかとなってしまうと思う。最終的な決める時期だけはや

	っぱり示していただきたい。
青山委員長	● 今の駅舎の問題については、本日の資料 2 にも記載されているように、任天堂資料館（仮称）に来られた方が…海外の方も日本人もそうだが、来るときは京都方面からきて、そして任天堂資料館（仮称）に行って、帰るときに切符を買ってそのまま平面で電車に入れると思って（逆側の）ホームに入場してしまう。その時、反対側のホームに行かないと京都駅方面に帰れないので一旦改札から出ないといけない。一方で橋上駅とすると費用の問題もある。任天堂資料館（仮称）のスケジュールに合わせて早急に整理をしなければいけない問題。 ● 今までのように基本構想を作ったら、そこから 10 年 20 年…ずっとほったらかしにするということではなく、事務局である宇治市が言うように短期、超短期で近鉄との協議を進めて実現化に向けていくと。駅東側はレインボービルの新しいオーナーがどういう考えを持つかによっても、もしかすると駅舎の形に影響する可能性がある。やはり 3 月までで終わるこの委員会において、どちらかの案を選ぶというのはすこし難しいのではないか。ただ、どちらかで必ずやるということ、基本構想の中に決意を示すのが良いのではないだろうか、そう思います。 ● 近鉄からは村上委員が参加してもらっているが、仮にこの 3 月までにどちらかにするということ決めるということは、事業者としての立場ではどう考えるか。
村上委員	● 今、青山委員長がおっしゃったように、当社としても今年 3 月までに決めきることが難しいと考えている。しかし、それはただだと議論や検討を引き延ばしするということではなくて、宇治市とも早急に協議を進めていきたい。
青山委員長	● 色々と調整しなければならないことがたくさんあって、あきらかに動き出すという感覚を持っていただけるとありがたい。
野川委員	● 平面で改札を通過できる方がエレベーターを使わなくてもホームに入れるということや、通路の幅員の問題で（通路部分に）施設などを入れてにぎわいを創出する等の意見があったが、いずれも③④どちらの案でも実現可能だと思う。通路を上階にあげて、駅を利用する方だけではなく、任天堂資料館（仮称）にいく方や東西を移動する方のために宇治市が費用を負担してもっと幅員を広げるという手法などは、案をどちらかに決めるということよりプランの問題だと思う。 ● ホームに間違えて入場すると反対側ホームへ行くには一度改札を出なければならないという手間が発生する。どちらでも、上がって降りてくるといふ動線が必要になる。それは案をどちらか選んだとしても対策ができ

	るのではと思う。 ● 跨線自由通路を利用する方と、駅を利用される方が、私の感覚では半分半分ぐらいのイメージである。橋上駅舎にした場合は利用者全員が階段と通路を通るが、平面の駅舎で半分か駅の乗降をするなら、東西移動の方だけが通路を利用することになる。そうやって分担されていれば、割と交通整理ができるのではないか。これは、どちらの案がいいのか協議するにあたって、動線の問題について知識不足なところもあるのだが、何か考えがあったら教えていただきたい。
青山委員長	● 事務局と近鉄村上委員からコメントを。
事務局	● 「障害者に優しい」というこのご意見されている方は、駅員がどちらかのホームにしかいないという現状で、駅員がいない方のホームで何かトラブルがあった時、駅員がすぐに対応できない、待つ時間が長い・難しいということをイメージされているかと思われる。その点は、先ほども言っていたようにメリットとデメリットをどう解消するかというのを、運営によって解消できるところはでてくるかと、意見をうかがってその通りだと思っている。 ● 動線的な話として、一概に言えないかもしれないが、朝に駅西側の方が京都方面に向かう場合、自由通路を使わずにホームにアクセスできるので自由通路の交通量はその分発生しない。また帰りに関しては（自由通路を使用するので）交通量に加味される。時間帯によって分かれてしまうので、幅員の考え方も変わってくるかと思う。そして、任天堂資料館（仮称）ができた場合、どちらの方面から人が流れるかによって、考え方も変わるだろう。例えば橋上駅舎であれば、すべての人が上階から出入りをして、すべて階段を通るという意味では一時のことを考えると、交通量は増えるだろう。そのあたりのことや技術的な部分も含めて、詳細な検討は今後必要だと考えている。 ● 自由通路の幅員・道路の構造として考えたとき、西小倉地区はハザードマップでも浸水想定エリアに入っており、その視点から避難路としての役割も担うと考える。その点でも、幅員・構造をどうしていくかを考えていかなければならない。
村上委員	● 近鉄案については、一番はアクセス性を重視しての提案だが、それに加え、線路上空にもものを建てる（④橋上駅舎）となると作業時間が限られることから、費用面も高額になるということでも提案をしている。 ● 障害者への配慮や幅員の面で、必ずしも④橋上駅舎が勝っているというわけではなく、事務局からの話のとおり、幅員に関しても一時のピーク利用者数や避難路としての機能、様々な要素が関わってくことで、必ず

	しも跨線自由通路であれば幅員が狭くなるということではない。障害者への配慮についてもコスト面でどのような対応ができるか、乗り間違いについても、どこまでできるかという技術的な検討を今後していった上で宇治市と協議し、どちらかに決めていくものだと考えている。
青山委員長	● 近鉄として地下通路について何か考えはあるか。
村上委員	● 地下通路については、これから上空に通路ができるという方向性なので、そのあり方を踏まえて対応を考えたい。
山口委員	● 地下通路については地域説明会で 2 件の残してほしいという意見があった。そして所有権についてだが、地下通路は近鉄の所有で、新しく東西自由通路を作るとすると宇治市の所有になるのかを確認をしたい。
事務局	● 現状の地下通路は近鉄の所有。跨線自由通路については一般的に考えると宇治市の所有になる。
山本委員	● 向島の駅は橋上駅舎になっているが、近鉄側にもメリットがあっただろうと思う。もしメリット・デメリットがあったということであれば、是非近鉄小倉駅でも参考にして欲しい。やはり橋上駅舎にしてよかったか。
青山委員長	● 近鉄向島駅が橋上駅舎なので、そうなった経緯やメリットなどはありませんでしたか。
村上委員	● 向島駅は特急追い抜きの待機のために線路が 4 本あって、平面からホームにいけない構造になっている。それもあつたので橋上駅舎になっている。現在の小倉駅は平面からいけるというメリットもあるので、それも活かせればと思う。
岡井委員	● 今日は皆様、様々な意見がでて、その中でも住民説明会で多くの人が参加したということが、地域の人たちが自分たちのまちをどうしていくのかということに関心があるということで、素晴らしいと思って聞いていた。 ● 一番の課題としては、任天堂資料館(仮称)ができることで、現在では考えられない程多くの人々が来訪し、近鉄小倉駅を利用する。そうするとキャパシティの問題で、今のままの駅舎というのは難しいだろうなど。ホームが異なったりする関係で、外国人の観光客が同じホームからでもアクセスできるだろうと行ったのに、逆の方に行かないといけなくなると、そこで駅員が対応に追われてしまうというデメリットが非常にあるのかなと考える。 ● それを考えると任天堂資料館(仮称)の完成までになにか決着を、工事の完成という形を実現するのが望ましいし、増加する乗降客に対して、対応できるような駅舎の形状にするということが何よりも大事だと思う。今ある 2 案のうちどちらにするのかというのは、市と近鉄の調整が重要であると思うが、人であふれないような駅舎にしてほしい。

事務局	● 令和 5 年度末に任天堂資料館（仮称）の完成を目指しているということで、少しでも整備をというお話かと思う。駅周辺整備を進めるにあたっては、委員の皆様を検討いただいた基本構想に基づいて、まちづくりの核となる駅舎・駅のあり方の検討をまず進める必要があると思っている。 ● 駅周辺の一体的な整備には、駅舎の形式はもとより東側・西側の駅前広場も踏まえた総合的な検討が必要と考えている。また、現在は実現が困難な形となっている近鉄京都線を跨ぐ都市計画道路の「八幡荘宇治線」は駅東側の駅前広場も含み都市計画決定されており、駅や駅前広場の形状を踏まえた見直しが必要になってくると考えている。 ● 検討や都市計画手続きに関するものは都市計画法上でも、所有者との協議・調整が必要。整備には様々な手順を踏む必要がある。将来様々な協力を仰ぐ必要があると考えている旧近商・レインボービルは土地所有者が破産手続きをしている。まずは動向を見ながらになるが、所有者が決まれば、まず委員会で議論した構想の内容を示して、まちづくりの構想に沿った土地利用の協力要請をして、それに合わせて整備に向けての検討を前に進めていきたい。 ● これらを考えると、整備に向けては不確定な要素も現段階ではあるので、なかなかいつに整備できると明言することは難しい。先ほどからも述べているが、駅をどういった形状にするかという検討は早期に着手し決めていきたい。ここに関しては周辺の動向にはあまり関わらず、継続して近鉄と協議を着実に前に進めていきたいと考えている。
山本委員	● 市でレインボーの建物自体を買い取って撤去してもらうことはできないのか。更地にすることはできないのか。可能なら、東側は全面広場にできるし、任天堂資料館（仮称）にまっすぐ入れる動線になる。広場には観光バスが停車できたり、駐輪場を北側か南側の端に作るとか、真ん中はロータリーにして、中央になにかモニュメントのようなものを置いて欲しい。小倉に来たのだと思うようなもの、例えば任天堂のものでもよし、玉露発祥の碑であつたら誇らしい。 ● バスが 1 日 1 本しかないが、任天堂資料館（仮称）に来た観光客を今度は平等院などの方面へ運べるようなバスがあれば、宇治市が全体的に活性化されていくと思う。
青山委員長	● 今の山本委員のご提案は、今後の具体的なまちづくりにかかわる話で、私もあとから意見を言おうと思っていた。今のご提案の中で、東側をすべて宇治市が買い取って更地にするのはたぶん非常に難しいと思う。予算的にもそう簡単ではないし、もしかすると高架化するよりも難しいこと

	かもしれない。 ● 小倉駅周辺が整備されるとき、商店の方ともよく今後話し合うべきだろう。（任天堂資料館（仮称）ができたとき）宇治の玄関口にもなるわけで、観光客がたくさん来た時に、宇治茶を提供する喫茶店などが駅前にあった…そういう「仕掛け」が必要だろう。 ● これらは市役所がやることではなくて、商店の方々でもってそういう発想でやってもらうことだと思う。やはり新しい玄関口としてふさわしいようなまちづくりを地域とともに進めていくと、その意味では基本構想の中にはそうやって読み込めるところもあるので、それを具体的に是非、単に文字で書くだけではなくて、具体的に進めていただきたい。 ● そしてバスについても、最近トヨタとソフトバンクが組んで行っている地域デマンドバスがある。例えば駅からスマートフォンでどこからどこまで行きたいと注文をすると、そこに迎えにきてくれて…今トヨタは全国で 171 都市の自治体役所と契約をしてデマンドバスを運営し始めている。それは今日の日本の法律であれば、地元のタクシー会社か観光交通会社と組んでそういうことをしなければならぬが。デマンドバスというのはそのサービスが欲しい方が電話をすると、そこにきてくれて行きたいところまで行けるというサービス。 ● デマンドバスみたいにタクシーが自在に呼べるというサービスは、情報ネットワークと上手くリンクさせるとうまくいけるし、自動運転の車がまちなかを走れるとなると移動利便性が変わってくるので、そういった社会実験を小倉駅でやり始めてみるとか、そういったことも含めて、周辺整備は考えていただきたい。 ● そうしてもう一つ。今回の基本構想の中ではあまり表現や言及はしていないが、私が非常に心配しているのは、任天堂資料館（仮称）へは公共交通機関や観光バスで来てくださいと言うだろうが、やはり自動車で来場される方は多い。外から来る車が宇治市の環境に影響を与えるということが起きるので、私はそのあたりの対策を、市の方で駐車場や機能整備のことは考えていると思うが任天堂資料館（仮称）ができたあかつきに、車の交通計画のような考えを持つことが必要ではないかと考える。
事務局	● 何か西側で工事を始めたのかという話があったが西側は現在、駐輪場の検討をしていて、ご覧になったのはおそらくボーリング調査。駅や広場は一体的に考える必要があるが、それとは切り離して考えることができる駐輪場は検討を進めているという状況。 ● 東側の立体駐車場の見通しがよくなったというのは、色々と老朽化が進んでおり、実際に地域の方から例えば「パネルが外れて危ない」などい

	ろんな情報を聞いた。(民有地内の民有施設であるため)市で直接対応できないので、破産管財人に連絡して色々に対応をお願いしたので、その一環で対応されたものだと思う。 ● 東側の話で、委員長がおっしゃったとおり、レインボー小倉跡地を宇治市ですべて買うのは難しい。整備を進めるうえでは、皆様の税金を使って整備となると、様々な視点に基づいて広さなどを検討した上で、適正な規模をしっかりと把握し、取得を検討するという順番になる。 ● 任天堂資料館(仮称)が来るということを含めて、中距離交通結節機能をまず東側にと考えているので、これまで議論いただいている通りにぎわいや活気というものが不可欠であり、それに対する「仕掛け」が必要と思っている。ご意見を参考にしながら、民間事業者からの意見もいただいて協力しながらそのあたりを進めていきたい。 ● 山本委員からも青山委員長からも意見がありましたバスや交通問題は、やはり任天堂資料館(仮称)がいくら公共交通機関を基本として来場を想定していたとしても車で来場される方は想定される。その点は宇治市としてもソフト面・ハード面の両面で検討して、開園までに何らかの形をとらないといけないと考えており、検討を始めているところ。近鉄や関係事業者との協議で案を出して、開園の際には何らかの案をもって、地域にご迷惑が掛からないようにまちづくりを考えていきたい。
山口委員	● 自動車の関係で、駅西口に自動車を駐車するパークアンドライドみたいなことはできないか。あと一度申し上げたことがあるが、道の駅を作ればどうか。買い物についても地元は便利になるし、自治体で実施できるので地産地消ということで効果も見込めるのではないか。
事務局	● 今ご提案いただいたパークアンドライドはソフト的な面の施策として一般的であるので、選択肢の一つには考えていきたい。道の駅は以前にご提案頂いたが現段階でどうこうということはないが、まちのにぎわいづくりをつくっていくということをどう仕掛けていくか考えたい。
青山委員長	● パークアンドライドは例えば西側に車を駐車して電車にのるというのはあの場所の土地は高すぎるのではないかと思う。もうすこし安くて大きな土地が他の場所にあれば、それは可能性としてあると思う。 ● 今回検討を予定していた議事次第は終了。本日出た意見の中で、基本構想にかかわるところについては事務局で見直し、最終案を整理した上で次回に向けての取りまとめをお願いする。